

◎ シンガーソングライター「より子」の院内ライブが開催されました

11月10日（火）夜、医学部附属病院 外来1階 待合ホールで、小児ガンを患った経験を持つプロのシンガーソングライター より子さんの院内ライブが開催されました。

より子さんは、1984年生まれで、2歳から5歳まで小児ガンを患い、病院でその幼少期を過ごされました。その頃、お母さんにもらったディズニーのカセットテープと手元にあったおもちゃのピアノがきっかけで音楽的才能が開花し、2004年10月メジャーデビュー、順調に続けていたアーティスト活動でしたが、2006年4月22歳の時、卵巣腫瘍を患われ再入院、予定されていたツアーは全てキャンセルとなりました。

そんな経験を通して「生きる」ことへの強い思いを込めたメッセージを伝える活動を続けているシンガーソングライターです。

院内ライブでは、入院患者、医療スタッフ、学生など約150人が集う中、愛しい人への思いをつづったオリジナルの「星に願いを」など計7曲がピアノ弾き語りで披露されました。

また、観客の盛大な拍手に応えたアンコール曲では、アカペラによる「アメーzing・グレイス」の素晴らしい歌声を聴くことができ、感動のひと時でした。



(提供 朝日新聞社)